



(昨年11月9日、田頭、平笠秋・実りまつり「文化芸能交流発表会」)

先人から 受け継ぐ(15)

ひら かさ た うえおどり
平笠田植踊

平笠田植踊は、いつごろから踊られたかについての書き物はありません。慶応か明治時代初期に、滝沢村(現滝沢市)から師匠が来て教えたというのと、江戸時代から踊っていたという2つの説があります。

米の豊作を願うこの踊りは、「三番叟」や「顔見世」、「種まき」、「苗取り」などの演

目があり、農作業の流れを表現したものと、他の伝統芸能が複合しています。

現在は、保存会の指導により、平笠小学校の児童などに伝承され、5月3日の宮田神社例大祭などで披露されています。

◎保存会代表 高橋一三さん

◎市指定無形民俗文化財指定日 昭和49年7月20日(旧西根町指定)



私たちの代表である議員の皆さんがどのような活動をしているか市民には見えていないと思います。誰でも分かるような「開かれた議会」を進め、市民の声を吸い上げて市に提言してもらいたいです。

22年前に結婚して三重県から八幡平市(旧安代町)にきましたが、人口、特に若い人が減っているのが気になります。市が発展していくためには若い人たちの力が必要です。豊かな自然などの資源を有効に活用して若い人たちが働く場所の確保と、子どもたちが八幡平市に誇りを持ち、ふるさとに帰ってきたいと思うような活気のあるまちづくりを期待します。

若い人たちが誇れる
活気のあるまちをは ざわ まさ こ
羽澤正子さん(五日市3区)

議会のまど